

(個別研修) 中村 まい香

研修テーマ: 本人主体の支援システムの構築 ～子どもの成長、発達に応じた支援計画の立案、子どもと家族を支える他職種との情報共有手段の模索～

研修地: アメリカ カリフォルニア州 サンノゼ

研修日: 5月1日～5月5日

Lynbrook High School (高校)



高校の通常級に在籍している生徒を対象としている para educator へのインタビューと、learning skills という宿題の時間の見学をさせていただいた。

スタッフルームには、その日勤務している para educator が受け持つクラスのスケジュールが張り出されており、30名1クラスのうち5～6名の生徒を1名の para educator で支援するとのことだった。

Joaquin Miller Middle School (中学校)



特別支援教室のクラス担任の教員にインタビューささせていただいたり、実際の授業の様子の見学をさせていただいたりした。

特別支援教室クラスの教員から、特別支援教育では心理士や言語聴覚士、作業療法士などと協働して1人1人の生徒の計画を立案しているというお話を伺った。

Sunnyvale Community Center



発達障がいのお子さんへのレクリエーションセラピー（グループセラピー）の見学とその保護者へのインタビューを行った。レクリエーションセラピーは Sunnyvale 市が運営しており、8～13歳を対象に、週に1度90分のプログラムとなっている。見学時の参加者は5人、スタッフは4人で行っていた。

保護者へのインタビューでは、障がい名が診断されてからの支援の流れや、学校で実際に行われている支援についての率直な感想を伺った。